

平成29年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告

第48回 ケアマネ塾

【開催日時】平成29年9月21日（木）18：30～20：30

【開催場所】千代市民センター2階 会議室（北九州市八幡西区千代二丁目27-1）

【内 容】テーマ①「直方鞍手地区の認知症初期集中支援チーム及び認知症について」

講師：福岡県認知症医療センター直方中村病院 精神保健福祉士 葉室

テーマ②「行方不明者搜索模擬訓練について」

講師：小規模多機能ホーム 出会い・茶屋の原 介護支援専門員 松井 先生

テーマ③「認知症の方の支援で有効な手立てを教えあいましょう」

講師：ケアプランセンター出会い・茶屋の原 介護支援専門員 中村 先生

【主 催】八幡西区の介護支援専門員の任意団体

北九州市八幡西区の介護支援専門員の方が、8月26日、福岡県県立大学で行いました「平成29年度筑豊地区 福岡県認知症医療センター合同専門職向け研修会」に参加されたようです。話を聞いた上で、「ケアマネ塾でも話をして欲しい」と講師依頼の話になり、今回実施しました。

ケアマネ塾は、北九州市八幡西区の介護支援専門員の方で希望者が所属し、事業所持ち回りで月1回勉強会を開催していると聞いております。21事業所から構成しているようです。

参加者は25名でした。

テーマ①では、直方鞍手地区と北九州市八幡西区の状況（人口、高齢化率等）を比較して報告しました。その上で、認知症初期集中支援チームについて、国が示している概要と設置の動向、そして実績及び事例を紹介しました。更に、認知症を疑った場合、かかりつけ医に相談することを認知症診断のフローチャートを用い説明を行いました。そして、医療と介護の連携を考える上で、「どのような視点が必要なのか」について簡単に説明をしました。

テーマ②では、茶屋の原団地公民と小規模多機能ホーム出会い茶屋の原が主催・共催として実施しました行方不明者搜索模擬訓練について、報告がありました。実践してみてもの苦労話が聴くことができました。また、訓練は継続が必要であることも話としてありました。認知症高齢者の行方不明者に関しては、どの自治体でも関心が高く、各々が取り組まれていることを改めて知る良い機会となりました。

テーマ③では、NPO 法人 老いを支える北九州家族の会の情報提供や認知症高齢者の当事者が書かれた手紙の朗読がございました。

さいごに、ご参加いただいた方々には業務の時間を調整していただきまして、感謝申し上げます。ありがとうございます。

（葉室）